

## ■ 学ぶ・つながる・地域の輪

### (草津学区ひと・まちいきいき協議会 子ども育成委員会)

#### 1 【活動の趣旨】

こどもから高齢者までが安心して過ごせる住みよいまちづくりを掲げる草津学区では、地域・学校・家庭の交流の輪を広げ、より良いまちづくりに取り組んでいる。

#### 2 【特徴的な活動内容】

##### ○「お芋ほり」

こども園の園児たちが、なでしこ農園での芋ほりを体験した。地域の協力者から芋の掘り方を教わり、収穫や食べる楽しみを実感し地域の方との交流を行った。

実施➡10月31日(金)

参加者➡草津中央おひさまこども園 5歳児

##### ○「京都市市民防災センター」で防災学習

地域の小学生を対象に、地震や強風・消火体験などを実体験し、災害の恐ろしさや災害時の行動について学んだ。

実施➡12月6日(土)

参加者➡こども 21名、大人 7名

##### ○「おもちつき」

地域の小学生を対象にまちづくりセンターで「もちつき体験」を行い、自分たちでついたお餅をおいしく食べた。

最近の日常では得難い、実りある経験をした。

実施➡1月24日(土)

参加者➡約90名 協力者 約30名

#### 3 【実施に当たっての工夫】

- ・予定通りに進捗するよう事前の打ち合わせと準備を行い、サポート要員の確保にも努めた。
- ・こどもたちが安全に楽しめるように配慮し見守った。

#### 4 【事業の成果】

「お芋ほり」では苗植えと収穫を楽しむこどもたちの笑顔が見る事ができた。「おもちつき」では多くのこどもたちが、経験したことのない餅つきを体験し、地域の協力者たちと一緒に楽しい時間を過ごした。

#### 5 【事業の今後の展望】

地域の高齢者ともふれあう機会を増やしていきたい。また、餅つきなどの行事では指導者の高齢化に伴い、事業を継続していくために次世代への伝承が重要課題であると感じた。



【お芋ほり】



【防災教室】



【おもちつき大会】